



粟生沢方面への県道黒磯田島線の 一部狭い区間の道路改良の実現は

町長＝道路改良性の必要性を強く訴え継続して要望する

問

県道黒磯田島線を水無、粟生沢方面に車で走ると昭和メロメロ株式会社社会津工場を400mほど過ぎると、道幅が急に狭くなり、対向車とのすれ違いができないほど狭い区間が500mほど続きます。住民の通勤、通学、生活重要路線でありながらとても危険です。

「これまでにも粟生沢地区及び水無地区から、県へ直接要望して県が動き一部改良工事が実施された箇所もありますが、その後進捗はみられません。町はどのように認識していますか。」

町長

その区間というよりは地区からの要望箇所として、県と行っている地域課題検討会等において継続要望しているほか、一県道黒磯田島線黒磯交差点期成同会等でも、要望箇所の一つとして、株松田

所の一つとして、株松田

問

県道では県から除雪等は黒磯からの委託を受け町が代行して実施しています。スムーズな除雪作業の面からも、住民の安心安全面からその狭い危険な区間の改良工事を實現するため県に要望する考えは、

曲区間の解消や急勾配の改良を要望しています。

町長

県からは、道路の利用状況や財政状況等を総合的に勘案しながら検討するとともに、引き続き、現道対策等を適切に行い、安全な通行確保に努めていくことの回答をいただいています。

町として、道路改良の必要性を強く訴えながら継続して要望していきます。



県道黒磯田島線と水無、粟生沢方面に車で走ると対向車とのすれ違いができないほど狭い危険な区間が長く

【その他の質問】

とくしくラスキー場の民間主導の方向性に関係なく

「町の指定管理」として継続する考えは、愛宕山頂を、鴨山城の見張り台(展望台)」として復元しては